



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年11月04日 第1241「週刊五十嵐レポート」

AIバブル！？

10月末に日経平均株価は5万1000円台まで上昇した。

10月29日の終値を見ると、5万1307円で前日比1088円上昇した。ところが、東証株価指数は前日比7.63ポイント値下り、3278.24。時価総額も前日比2兆3800億円減少の1120兆2800億円。上場銘柄数1616のうち、値上り200(全体の12%)、値下り1394(同86%)。全体の12%の銘柄(企業)で前日比1088円値上りした。86%の銘柄(企業)が値下り、時価総額が減ったことになる。値上った少数の銘柄とは、AI関連と半導体関連。

10月31日付日経新聞、「強気のAI投資継続」という記事。

米国の巨大テック企業が人工知能(AI)インフラへの巨額投資が加速。マイクロソフト、アルファベット(Google)、メタの3社は2026年の設備投資が25年を大幅に上回ると表明。AI事業の投資回収に不透明さが残る中、各社が年間10兆円を超える規模で先行投資を勧めている。メタCEOは、「投資が過剰になる可能性はある。それでも座して待つより、AI投資を加速させるのが正しい」と。

オープンAIは対話型AI「チャットGPT」の普及で、大量のAIインフラを必要としている。マイクロソフトやオラクル、エヌビディアからクラウドや半導体を調達する。中長期で支払う額は1兆4000億ドルに上る。フリーキャッシュフローの黒字転換に2030年までかかる計画。「チャットGPT」の収益化は容易ではない。世界の利用者は8億人に増えたが、その9割超は無料版を使っている。

AIがインターネットやスマホに匹敵する技術革新であることはだれも疑う余地はない。技術に価値があっても顧客がお金を支払うかは未知数。2000年代初めに期待先行して膨張したネットバブルが崩壊したように、今回のAIブームも大きなリスクをはらんでいる。

私見だが、現在の日経平均株価はAI・半導体関連を除くと4万円ぐらいではないか。歴史は繰り返すという。来年の株価は波乱があるかもしれない。

ちなみに、「チャットGPT」(無料版)を利用している。使い勝手がいい。有料になっても私は使うだろう。既にZoom、YouTubeは有料で利用している。

ちょっと
気になる出来事

10月6日付日経新聞、「訪問介護 100自治体は空白地」という記事。過疎地を中心とした全国約100の自治体は、訪問事業所が一つ所もない空白地となっている。全国1741市町村の約6%占める。

事業所と利用者宅との距離が離れているため訪問サービスの提供が困難な自治体が対象である。訪問介護員が事業所から利用者宅まで移動するのに時間がかかるといった課題がある。但し、約100町村のうち8割ほどの自治体は通所事業所がある。施設に通って介護サービスを受けることはできるが、自宅にて家事等のサービスは受けられない。

正に「地域戦略」。最大のコストは「移動時間」。自宅で介護時間が30分だとして往復時間が2時間だったら大赤字。

自治体の支援策は、6ヶ月間または1ヶ月当たりの訪問回数が300回に達するまでの間、1回につき一定額を補助する。

1ヶ月当たり300回以内で無期限であれば、金額によっては可能かもしれない。足りない部分は利用者から徴収できれば現実的。移動時間で粗利が取れないと事業として成り立たない。



一口メモ
知識

指導者の資格 2

指導者たる者に必要なのは、さわやかな弁舌よりも敏速な行動力だよ。

子曰、君子欲訥於言、而敏於行

子曰く、君子は言に訥(とつ)にして、

行(おこない)に敏(びん)ならんことを欲す。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

